



生産効率や原価意識に対する認識に変化。 生産性向上に対するデータ採取がスムーズに。

*訓練前の状況を教えてください。

研修については、必要に応じて社員を単発的に外部研修に参加させ、それを社内での社員にフィードバックする形で行っていましたが、より多

くの社員を対象に実施したいと考えていたところ、生産性向上支援訓練をご紹介いただきました。

生産性向上支援訓練は、カリキュラムが豊富で、費用も安価であり、自社での受講が可能であることから関心を持ちました。

一回の訓練時間を業務に支障を来さない範囲にしていただき、グループリーダー以上の中堅層のレベルアップを図ることで生産性を向上させるために実施いただきました。

*訓練を利用した感想、および受講者や職場の変化はありましたか。

原価構成を理解するなど、新しい知識を知ったことで、生産効率や原価意識に対して

の認識が変わってきており、生産性向上に対するデータ採取がスムーズになってきています。

今後は生産効率の指標である総合効率について、例題をもとに実習させ、現場で取り組んでいけるレベルにしていきたいと思っています。

受講者の声

- ・現場に対する問題点のを見つけ方、解決の糸口を見つける手法、勉強になりました。原価計算については、計算の手法、このようなやり方で製品の値段が決められているのかと感心しました。
- ・なぜなぜ分析の手法は以前から活用していますが、今後は主に不良対策として改善活動等に活用していきたいです。
- ・漠然と生産性向上を頭の中だけで考えていましたが、もっと論理的にデータに基づいて考えていかなければならないと、改めて思いました。又、実践にあたり、それ相応の時間を費やさなければ生産性向上はならないと痛感しました。

株式会社名高精工所

事業内容

航空機器部品、自動車関連部品、油圧機器部品等の切削加工及び組立

会社概要

京都府宇治市

従業員数 90人

利用訓練コース

生産現場の問題解決（令和元年11～12月）

原価管理とコストダウン（令和2年2月）